

マレーシアの東海岸は海がきれいで、レダン島などシュノーケリングを楽しめる島がいくつかあります。シュノーケリングで海中を見ていると、赤や青、黄といった色鮮やかな魚が多く見られます。一方、日本近海で泳ぐマグロやカツオ、カレイなどは黒っぽい地味な色をしています。何が魚の色に影響を与えているのでしょうか。

魚の色彩は、主に水の透明度と環境の色によって決まる傾向があります。レダン島のように色鮮やかなサンゴが生息し海の透明度が高い環境



左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 東南アジアのグッピーやベタなどの熱帯魚が鮮やかな色や美しい尾びれを持っているのはなぜですか。本文中から15字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

		～		

鮮やかな色の魚

□ 1031 □

サンゴ礁の中で保護色に

では、魚の色は派手な方が背景のサンゴ礁の中で保護色となるため目立ちにくく、敵から襲われにくくなります。透明度が低く深くまで光が届き難い海では、マグロのように黒っぽい地味な色をしている方が、外敵から身を守る上で有利になります。

川や池はどうでしょうか。川や池は水の対流が起こりにくいため泥や腐植質による濁りが強く、水が不透明になる傾向があります。透明度が低い海と同じように光が届きにくいことから、熱帯地方も日本もナマズやドジョウの仲間など地味な色の魚が多いようです。

しかし東南アジアでは、熱帯魚の代名詞であるグッピーやベタ(闘魚)などが川や沼にいます。よく知られるグッピーの雄は鮮やかな尾びれが特徴。ベタは目の覚めるような青や赤の体色で、長く美しいトビを持っています。ただこれらの原種は色合いが控えめで、派手な美しさは観賞用になされた品種改良の成果のようです。

魚たちのさまざまな色は単なる飾りではなく、光と水が作り出した環境に適應するための緻密な生存戦略です。美しいサンゴ礁が、魚の鮮やかな色彩の進化を支えているのだと考えると、その光景がさらに印象深く感じられます。

(マレーシア国立マラヤ大学派遣・宝塚北高校 運天 修)

	魚の色	水の透明度と環境色					
レダンの海	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div><div></div></div>	～	<div><div></div><div></div><div></div></div>			
日本近海	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	～	<div><div></div><div></div><div></div></div>			
川や池	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	～	<div><div></div><div></div><div></div></div>			

# NIEワークシートのこたえ（2026年1月26日公開）

## ◆ワークシート「魚の色(理科)」

2026.1.23付 朝刊 11面 解答

### 1 観賞用 ～ の成果

2

	魚の色	水の透明度と環境色
レダン島の海	色鮮やか	色鮮や ～ が高い
日本近海	地味な色	透明度 ～ き難い（難い海）
川や池	地味な色	泥や腐 ～ 不透明